



平野 広行 議員
大栄会

問 長時間停電と下水道、排水機は

答 自家発電設備が必要



▲十四山東部処理場(竹田地内)

問 長時間停電時の市内浄化センターの稼働体制は。

答 (下水道課長) 発電発電機2台、必要に応じてレンタルも。

問 停電時において公共下水、農業集落排水の運転体制は同じか。

答 公共下水は、自然流下方式、一部圧送式。農業集落排水は、真空式・自然流下式併用。

問 長時間停電時でも自粛することなく通常どおりトイレが使用できる対策は。

答 浄化センターの受入量に余裕があるか考慮した上

で、不便が最小限になるよう知らせる。

問 市内排水機場の停電時における排水能力は。

答 (農政課長) 鍋田地区約45%、十四山地区約48%、市内全体で約47%。

問 停電時に各排水機場が100%排水能力を発揮するには。

答 大規模な自家発電設備を各排水機場に増設する必要がある、国・県と連携し計画的に取り組む必要がある。

問 筏川最下流部にある県管理の筏川排水機場の停電時における運転体制は。

答 自家発電設備が設置されており、約3日間排水が可能。



▲鍋田南部排水機場 (鍋田町地内)

問 河川、海岸堤防の整備状況は

答 国・県と連携し整備促進

問 鍋田海岸堤防の液状化対策・耐震工事の進捗および今後の見通しは。

答 (土木課長) おおむね2024年度に全区間の対策が完了する見込み。

問 本市を取り巻く木曾川、善太川、筏川の堤防構造の認識は。

答 木曾川、善太川は築堤

構造。筏川は掘込構造。

問 木曾川左岸堤の耐震工事進捗および今後の見通しは。

答 進捗率は約27%。木曾三川河口部において、2023年度末までに進めていく。

問 善太川右岸堤の耐震工事の進捗および見通しは。

答 進捗率は約81%、引き続き進めていく。

問 筏川右岸堤の耐震工事、補修工事の見通しは。

答 掘込構造のため必要ない。

問 堤防高が低い稲元、稲荷、大谷、東末広地区の堤防越水による浸水対策は。

答 県が河口の樋門や排水機場など治水施設や護岸の整備をしている。

問 市長総括を。

答 (市長) 国や県など関係機関と連携し、河川・海岸堤防の耐震補強など、社会基盤の整備を促進していく。

【その他の質問】

◆津波・高潮からの一時避難場所は